

中部経済産業局

〒460-8510 愛知県名古屋市中区三の丸二丁目5番2号
TEL052-951-2683 FAX052-962-6804
 URL <http://www.chubu.meti.go.jp/>

地下鉄市役所駅 4番出口徒歩 5分
 地下鉄丸の内駅 1番出口徒歩 15分



電力・ガス事業北陸支局

〒930-0856 富山県富山市牛島新町11番7号
 富山地方合同庁舎 3階
TEL076-432-5588 FAX076-432-5526

JR 富山駅北口徒歩 5分
 電鉄富山駅徒歩 7分



JOIN US
METI!



組織図

中部経済産業局は、名古屋市と富山市を拠点に職員が日夜各地を飛び回り、企業、自治体、大学、研究機関などの「現場からの生の声」を情報収集して、経済産業政策の企画立案を行うとともに、それを実行することを通じて中部地域の経済・産業を元気にさせる仕事を担っています。

一言に中部地域の経済・産業を元気にさせる仕事といっても、中部地域の企業が既存の取組の高度化や新たな分野の進出にあたり、補助金の交付や国内外で開催される展示会への出展支援を行う仕事もあれば、商店街を再生して地域のコミュニティ活動を活性化する取り組みを支援する仕事もあります。一方、経済活動や人々の生活に欠かせない電気、ガス、石油や鉱物資源の安定供給確保のための指導や規制を行う仕事など中部経済産業局における具体的な仕事は多岐に渡ります。

仕事内容や相手先は多岐に渡りますが、いずれの仕事も「現場からの生の声」を情報収集することから始まります。こうした貴重な情報はオフィスでのデスクワークだけでは入手できないため、おのずと自ら積極的に現場に足を運び、多くの人から話を聞くことが必須となります。

したがって、中部経済産業局を志望される皆さんには、何事にも好奇心旺盛でチャレンジ精神があり、積極的に現場に出て行く行動力のある人物像を期待しています。

ぜひ、中部経済産業局に関心をお持ちの皆さんの訪問をお待ちしています。

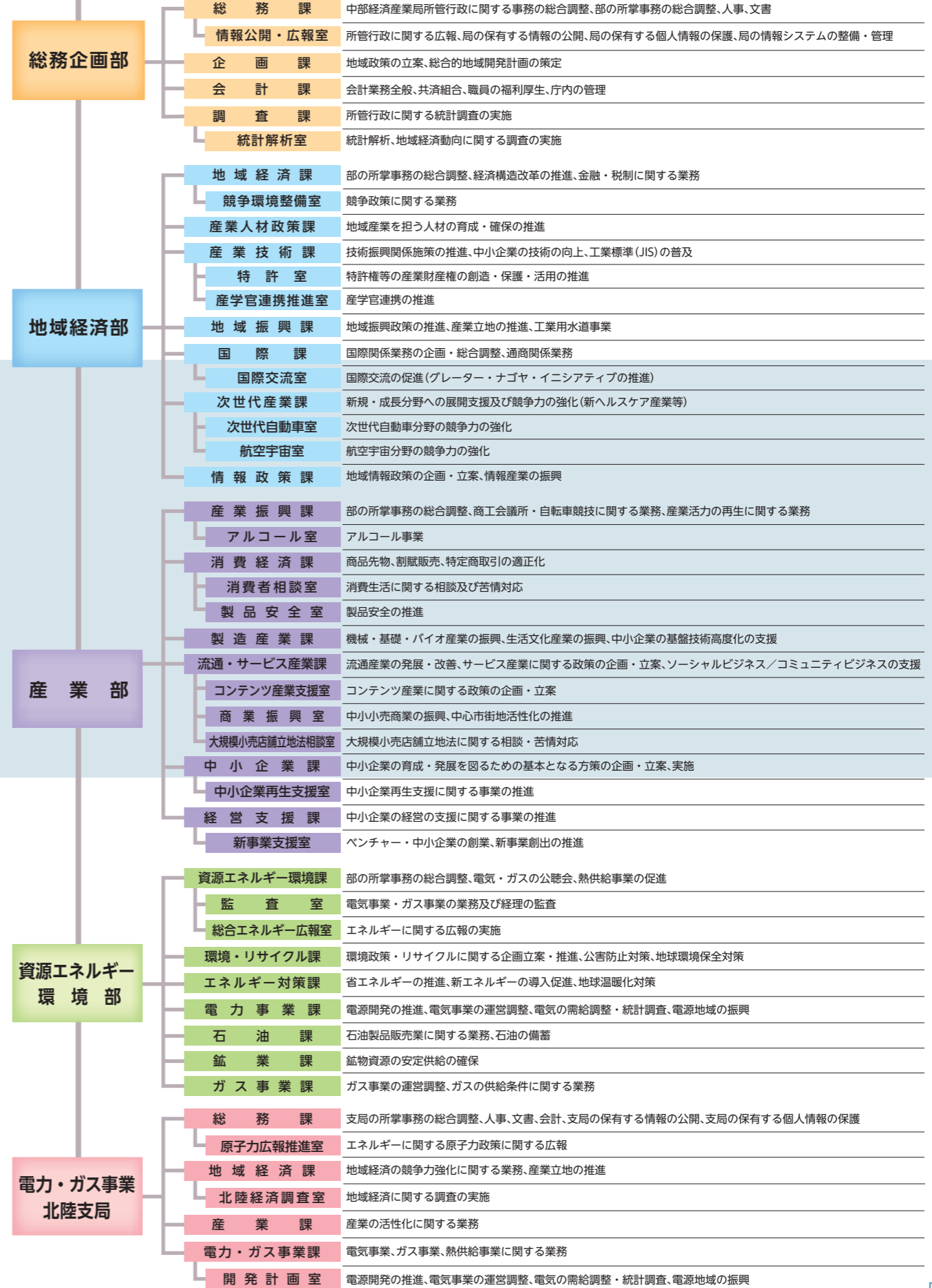
中部経済産業局総務課長

はじめに

Contents

組織図	2
先輩からのメッセージ	3
新人職員からのメッセージ	5
よくある質問 Q&A	6

経済産業省 中部経済産業局



先輩からのメッセージ

正確な仕事で局内業務を応援

Message 1. 中村千恵子

総務企画部会計課
(平成 19 年度入局/事務系)

皆さんこんにちは。

私は現在、総務企画部会計課にて、経理業務を担当しています。

中部経済産業局で実施している各施策に係る補助金はもちろんのこと、日々の庁舎運営にも様々なお金がかかっています。逆に、手数料として国庫に入るお金もあります。それらが適正に支出または収納されるよう管理し、それらを経済産業本省や会計検査院に報告する業務を行っています。

具体的には、パソコンにて専用システムを使用しデータを打ち込み、電卓片手に金額をチェックしたり、大量の会計書類を報告書としてまとめたり、ときには法律や規則を読み込んでいたり…と、地道な作業がとて多いです。

しかしながら、このような業務は中部経済産業局に限らず組織を運営していく上で必要不可欠です。それを任されているんだ！という使命感のもと、誤りのないよう集中しながら、日々働いています。

中部経済産業局には実に多種多様な業務があり、入局すると、数年ごとの部署異動を通じて幅広い経験を積むことができます。また、若手職員にも沢山仕事のチャンスを与えてもらえるため、何でもチャレンジしてみたい！という好奇心旺盛な方には、ぴったりの職場だと思います。

官庁訪問をされる皆さん、折角の機会ですから、ぜひ多くの官庁に足を運ばれると良いと思います。その中で自分が働きたいイメージや場所が見つかる、就職活動のモチベーションも上がるはずですよ。

ぜひ、中部経済産業局にもいらしてください。お待ちしております！



Message 2. 早水 隆

地域経済部産業技術課特許室
(平成 18 年度入局/事務系)

‘知的財産で世界に飛躍を！！’

皆さんは「知的財産」と聞くと何を思い浮かべるでしょうか？高度な発明？エジソンは偉い人？ちょっと自分とは縁遠いような気がしますよね。

企業活動についても同じことが言えます。素晴らしい技術や斬新なアイデア、工夫を凝らしたデザイン etc…経営の強みにできるファクターを持ちながらそれに気付けない、上手く活用できない、簡単に真似されてしまう…地域の企業は常にこのよう問題を抱えています。

特許室では、‘気付きの場’である知的財産に関する講習会や啓発イベントの企画や、専門家を揃えたワンストップ相談窓口を設置して具体的に知的財産を権利化する、活用するプロセスを支援しています。時には華やかな(?)広告塔となり、また時には政策の営業マンとなって企業の‘知財力’の強化のため日夜奮闘しています。

「経済産業局の役割って何だろう？」と考えると、施策を動かすエンジンであり、支援のコーディネーターであり、さっと答えは人それぞれです。

時には役所っぽい堅い仕事もしながら、地域の企業、大学、行政といった多様なプレーヤーに関わりながら仕事をしていく。それが経済産業局のカラーであり、他にはない個性なんだと思います。

入局してからの5年間を振り返ると、国際課(外国企業誘致や輸出ライセンスの発行)新規事業課(ベンチャー企業支援や産学官連携)会計課(局内予算と補助金・委託費の執行管理)と経験し、短期間でしたがG8やAPECといった国際会議にも派遣されました。

異動サイクルはちょっと早い(そして担当する仕事は多種多様！)ですが、その都度色んな人に出会い、新しい経験を積み、自分の世界がどんどん広がっていくのを実感しています。

‘これから’を作る仕事に正解はありません。だからこそ努力して考えて、答えを模索できるパワー溢れる方、お待ちしております！



中部ブランドを確立して世界へ発信！！

みなさんは我が国における中小企業の全企業数に占める割合が99%を超えていることをご存知でしょうか。

私の所属する経営支援課では、日本の経済を支えるのになくなくてはならない存在である、この中小企業をサポートする様々な支援を行っています。中でも、今、私が担当している「JAPAN ブランド育成支援事業」は、中部地域の優れた素材、技術を活かし、その魅力をさらに高めることで、世界に通用するブランド力の確立を目指す取り組みをサポートするものです。中小企業の方々の熱い思いに直接触れながら、海外販路拡大を支援する当業務は、中小企業の振興、ひいては日本経済の活性化にもつながる非常に重要な業務であり、大変やりがいがあります。

また、年度末には補助金額を確定するために事業者直接向けに電卓片手に経理書類をチェックする「確定検査」を行うこととなりますが、責任感を持ってこの年度末を乗り切り、業務に比較的余裕のある時期を迎えると、習い事や旅行等の趣味も楽しむことができます。

私は、入局してからの2年間、局内外で多くの方と出会い、多くのことを学ばせていただいています。日々、仕事をしながら、人とのつながりは、非常に大切なものであり、局内での職員とのつながりはもちろん、局の外で関わらせていただく様々な人とのつながりも、一生の財産になると感じています。

尊敬できる上司、同期、先輩に囲まれ、たくさんの方に出会いながら、毎日刺激を受けることで、自らを高め、前向きに仕事のできる中部経済産業局で、みなさんと仕事ができる日を楽しみにしています。



Message 3. 内藤 悠

産業部経営支援課
(平成 21 年度入局/事務系)

新エネルギーの拡大・普及に向けて

Message 4. 丸山太一郎

資源エネルギー環境部エネルギー対策課
(平成 15 年度入局/技術系)

近年、アジアを中心とした世界的な経済成長に伴い、化石燃料の需要が増加しており、世界のエネルギー消費量は、2030年には2005年の1.6倍程度に増加すると予想されています。こうした中、自然のプロセス由来で絶えず補給される太陽、風力、バイオマス、地熱、水力などから生成される「再生可能エネルギー」のうち、技術的には導入段階にあるが、コストが高いため支援が必要とされる「新エネルギー」は、エネルギー源の多様化や地球温暖化対策に資するだけでなく、分散型エネルギーシステムとして地域経済の活性化へ資するものと考えられており、様々な技術開発や制度設計が展開されています。

私は、エネルギー対策課で、この「新エネルギー」の担当をしていますが、電気事業者、新エネルギー等から発電される電気の一定量以上の利用を義務付け、新エネルギー等の導入拡大を目的としたRPS法の認定や、平成21年11月から開始した「太陽光発電の余剰電力買取制度」、および平成24年度以降の施行に向けた「再生可能エネルギーの全量買取制度」の広報活動の実施、国民が新エネルギー等を実際に見て触って体験できる「次世代エネルギーパーク」の発掘・広報を行っています。加えて、エネルギーの有効利用という観点から、電力に加え、熱エネルギーや交通システムも含めた社会システム(スマートコミュニティ)の実証支援や、燃料電池自動車用の水素供給インフラ推進のための検討会の実施等、新エネルギーに係る多種多様な業務に携わっているところです。

このように、国の経済産業政策を踏まえつつ、様々な業種の方との調整や交渉を通じて、施策を創り上げることが可能な職場であり、経験豊富な先輩職員のアドバイスのもと、日々成長を感じながら、地域の活性化に貢献できる環境がここにはあります。



“北陸発”の「売れる商品」を目指して

みなさんは「売れる商品」に必要な要素はなんだと思いますか？

価格が安いこと？高い技術力？有名なブランドであること？私はたえこれらの要素を備えていたとしても、たくさんの人達が「買いたい」「ほしい」と強く思う商品、つまり「買手のニーズ」がない商品は「売れる商品」にはなり得ないと思います。現在国内需要は徐々に縮小し、消費者のニーズも以前と比べて多様化しています。このような状況で企業がやみくもに研究開発を行っても「売れる商品」をつくりだすことは難しいと考えられます。

私が富山県にあります電力・ガス事業北陸支局の産業課で担当している「戦略的基盤技術高度化支援事業(通称:「サポイン事業」)」では、一定の条件の元、高い技術力を持った中小企業(川上企業)と、中小企業が作った製品を用いて最終製品を製造する企業(川下企業)や、大学、公設試験場などと協力して研究開発を行うことに対して資金面での援助を行っています。この事業を通じて中小企業が持つ技術を高度化するとともに、市場のニーズに合った「売れる商品」を生み出すことで経済の活性化、延いてはより豊かな国民生活の実現を目指しています。

実は私にとって北陸地方は縁もゆかりもない地域でしたが、見るもの聞くこと全てが新鮮で、公私ともにとても充実した毎日を過ごしています。東海でも北陸でもアクティブにがんばれるみなさんと一緒に働くことを楽しみにしています。



Message 5. 野村 諭

電力・ガス事業北陸支局産業課
(平成 19 年度入局/事務系)

健康長寿を旗印に地域を活性化

Message 6. 小林 弘和

大府市役所企画政策部企画政策課政策推進室長
(平成 5 年度入局/技術系)

私は、平成5年に中部通商産業局に入局してから、産業保安、中小企業支援、鉄鋼等の業種所管、JISマーク、環境施策など、技術系試験区分にも関わらず非常に幅広い業務を経験し、昨年の春から愛知県大府市に出向しています。

大府市は、名古屋に隣接し、自動車関連産業の集積や県内有数の出荷量であるたまねぎ、ぶどうなど、古くから農工商バランスよく発展してきた都市です。

また、健康づくり都市宣言やWHO健康都市連合加盟など、「健康」に関して意識の高い都市であり、来るべき超高齢社会を見据えた理想の健康長寿社会構築に向け、この地に健康長寿の一大拠点形成を目指す「ウェルネスバレー構想」を掲げています。

ウェルネスバレーには国立長寿医療研究センター、あいち健康プラザ、あいち健康の森公園、あいち小児保健医療総合センターなど、全国的にも稀な健康長寿関連施設が多数集積しており、これら各機関の代表の方や国、県、学識経験者等のみなさんと新しいまちづくりや産業づくりについて、議論、調整を繰り返す毎日です。はじめは大変でしたが、なんとかこの秋には新しい一歩が踏み出せる見通しが出てきました。

みなさん、経済産業省は、ものづくりからサービス、保安から支援など、幅広い業務を担っており、また、時にはそれらの経験を活かして地域の最前線で地域活性化に携われる、そんな魅力のある職場です。

是非、一度訪問してみてください。未来をつくる仕事、そんなチャンスがあちこちに溢れています！



新人職員からのメッセージ

Message

総務企画部総務課 (平成 23 年度入局 / 事務系) **丸目 敏也**



パンフレットを手にしたみなさんこんにちは。入局 1 年目の丸目と申します。現在の私は、局内会議の開催、本省からの発注への対応、起案文書のチェック、外部からの郵便物や電話の対応など局内外の事務に関する総合調整を行っています。総務課は仕事量が多く、時間があっという間に過ぎていくのを実感している毎日ですが、局内の様々な課と関わることで自分の存在を売り込むことが出来る点や局内で取り組まれている数多くの施策を知ることが出来る点で、経済産業局の職員としての土台作りをするには最適の課だと思います。日頃仕事の発注などで局内の職員と関わる際には、新人である私の話にも耳を傾けてくれますし、忙しいなかでも作業の要請に応えてくれるのでこちらも自然と仕事への意欲が高まります。また、日々仕事をしている上で強く感じていることが、経済産業局の職員は物事を端的に説明したり話の要所を捉えたりする力が高いという事です。その他にも優れた力を持った人が多く、自分自身を成長させるにあたって非常に優れた環境だと思います。仕事以外では、数多くのサークル活動があり、仕事以外でのつながりも強いです。私も複数のサークル活動に参加していますが、仕事を離れたところでも非常に魅力的な人が多く、一緒に過ごすことで充実した週末を過ごしています。ちなみにサークル活動の懇親会(いわゆる飲み会)の際には、仕事上の裏話を聞くことも多く、こちらも非常に勉強になっています。正直なところ私は当初から経済産業局を志望していたわけではありませんでした。しかし、説明会や官庁訪問で局の職員と関わるなかで、自分もこの一員になりたいと強く感じるようになり、経済産業局が第一志望になりました。心からこの職場で働きたいという思いを抱くことと、それを相手に感じてもらうことが出来たのが私を採用して頂いた要因ではないかと思っています。経済産業局の職員は人を惹きつける魅力があると感じています。まずは、官庁訪問に足を運んでみてはいかがでしょうか？皆さんの選択肢を広げる機会になるかもしれません。

Message

地域経済部次世代産業課 (平成 23 年入局 / 事務系) **内田 晶子**



私が配属された次世代産業課は、地域資源の特性や強みに応じた産業競争力を強化させるための方法を考えている部署です。そのための体制づくりとして、様々な分野で外部の有識者と会議で議論したり、個々の企業へヒアリングして、ニーズを把握したりしています。普段の仕事は会議資料の準備、会議のセッティング(出欠管理や議事録作成等)、行政文書の作成など総括業務を担当しています。職場の雰囲気はフラットで活気にあふれています。多くの先輩や上司からフレンドリーに接していただき、時にはお昼ご飯を一緒に食べたり、相談に乗ってくれています。また、休みの日にスポーツや山登りなど、アクティブな活動をしている人もおり、イベント等に誘われることもあります。官庁訪問は、一つの官庁にこだわらず、少しでも興味のある場所にはどんどん訪問していくべきです。官庁訪問は、雰囲気や仕事内容を感じ取り、自分に合う仕事を探せる大きな機会だからです。自分が何をやりたいかをしっかり考え、自分の軸を持って粘り強く取り組むことが大切だと思います。経済産業局は業務が非常に幅広く、若手の意見や力もどんどん取り入れて進めていくことが多いので、中部地域を活性化させるために、どのような取組をしていけばよいか、自分には何が出来るだろうかと考え、様々なことにチャレンジしていきたいと意気込みのある人が向いていると思います。経済産業局の魅力は、従来の型にはまることなく仕事ができ、成長できるチャンスがあふれていることです。1 つの県や市のみで取り組むことは困難なことも、国家公務員なら境界を越えて複数の地域や企業を連携させることができます。少しでも興味を持った人は是非訪問してみてください。

よくある質問 Q&A

Q1. どのような人材を求めているのですか？

A. 地域の活性化あるいは中小企業の課題解決のために、地域の企業、自治体、大学等へ直接出向き、日常的な交流の中から生の声を情報収集し、その結果を解決策や振興策の企画、立案につなげていくことが中部経済産業局職員全員に課せられた最大のミッションです。こうした仕事の達成のため、好奇心旺盛でチャレンジ精神があり、積極的に現場に出て行く行動力のある方を求めています。

Q2. 最近の採用状況について教えてください。

A.

試験区分	20 年度	21 年度	22 年度	23 年度
Ⅱ種(行政)	4 名	4 名	4 名	2 名
Ⅱ種(技術系)	0 名	0 名	1 名	0 名

Q3. 異動・出向はどのようになっていますか？

A. 2～3 年の期間で人事異動があり、様々な業務に携わる機会があります。配属先は、毎年、職員から配属に関する希望調書を取り、希望・適性等を勘案して決定しています。なお、事務系職員と技術系職員で基本的に配属先に違いはありません。勤務場所は、名古屋市及び富山市(電力・ガス事業北陸支局)ですが、経済産業本省及び経済産業政策と密接に関わりのある地方公共団体、産業技術総合研究所、中小企業基盤整備機構、国立大学法人などに多くの職員が出向しています。

官庁訪問の予約はこちらまで

【名古屋】総務企画部総務課人事係 TEL 052-951-2683
【富山】電力・ガス事業北陸支局総務課 TEL 076-432-5588

Q4. 勤務時間・休暇について教えてください。

A. 勤務時間は 1 日 7 時間 45 分です。3 段階(8 時 30 分、8 時 45 分、9 時 15 分)の時差出勤を実施しています。年次有給休暇は 20 日(採用年は 15 日)取得でき、使用残日数は 20 日まで翌年に繰越可能です。特別休暇として夏季休暇 3 日、結婚休暇 5 日、産前・産後休暇、子の看護休暇、介護休暇等があります。

Q5. 入局後の研修にはどのようなものがありますか？

A. 最初に、中部経済産業局内及び経済産業研修所(東京都東村山市)で併せて 1 週間程度の期間、新規採用職員研修を受講します。その後は、人事異動により新たに配属された課室の業務を適正に行うために必要な知識を習得する特定業務研修や、個人のスキルアップを目的とした基礎スキル研修(法律、経済、財務分析、語学など)を経済産業研修所で受講することができます。その他、語学力の向上や資格取得を目指す職員に対して、語学学校や専門学校の受講料を補助する制度や、民間企業派遣研修などを実施しています。

Q6. 官庁訪問するにはどうしたらよいですか？

A. 官庁訪問の予約は、Ⅱ種試験の第 1 次試験合格発表日(7 月 13 日(水))の 14 時から電話で受け付けます。官庁訪問は、7 月 19 日(火)午前 9 時より開始します。当日は、人事担当者が 1 対 1 の形式で、皆さんの質問にお答えします。ぜひ一度官庁訪問をして、疑問を解消していただくとともに、職員の受け答えなどから職場の雰囲気を感じとってください。その際は自己 PR もお忘れなく。

主なサークル活動

野球、テニス、バレーボール、フットサル、スキー、スノーボード、華道、茶道など

